

PRAEVIDENTIA DAILY (3月16日)

昨日までの世界：米経済指標悪化にも拘らずドル反発（除く対円）

先週金曜は、米経済指標が軒並み市場予想を下回ったにも拘らず、ドルが対主要通貨、新興国通貨で堅調に推移したが、対円だけは横ばい圏内に留まったのが特徴的だった。

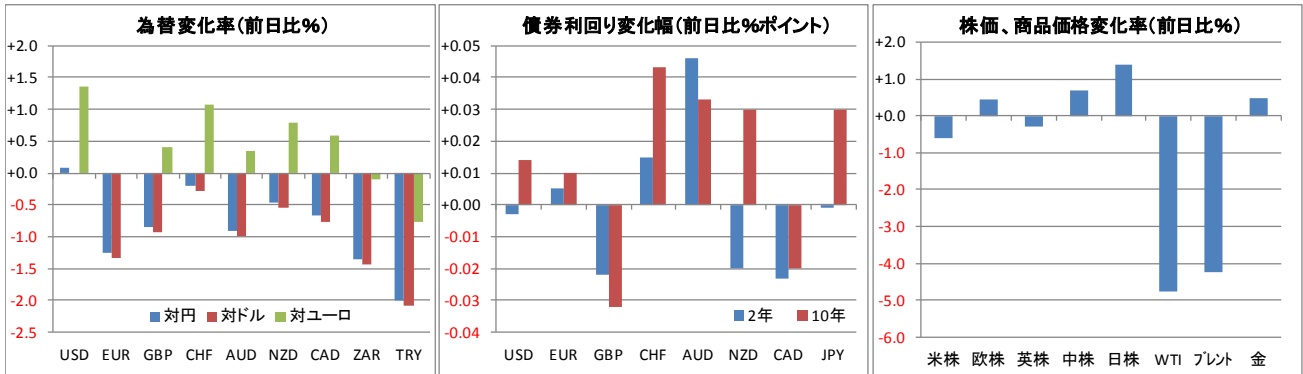
米経済指標では、PPI が総合だけでなくこれまで安定していたコアも市場予想を大きく下回り、各々前年比 -0.6%（市場予想 0.0%）、+1.0%（市場予想+1.6%）となったほか、ミシガン大消費者信頼感速報値も 91.2 と前月の 95.4、市場予想の 95.5 から悪化した。但し、Fed が注目しているサーベイ調査ベースのインフレ指標である、消費者のインフレ期待は、1年後が 2.8%から 3.0%へ、5年後も 2.7%から 2.8%へ上昇した点は、ドル下支え要因だったと言える。

ユーロ/ドルはユーロ圏関連では特段のユーロ売り材料はなかったが、ドル高主導で一時 1.0493 ドルと直近安値の更新が続き 2002 年末以来の水準へ下落した。ポンド/ドルも 1.49 ドル割れから 1.4697 ドルへ急落し、直近安値を更新し 2010 年 6 月以来の水準となった。

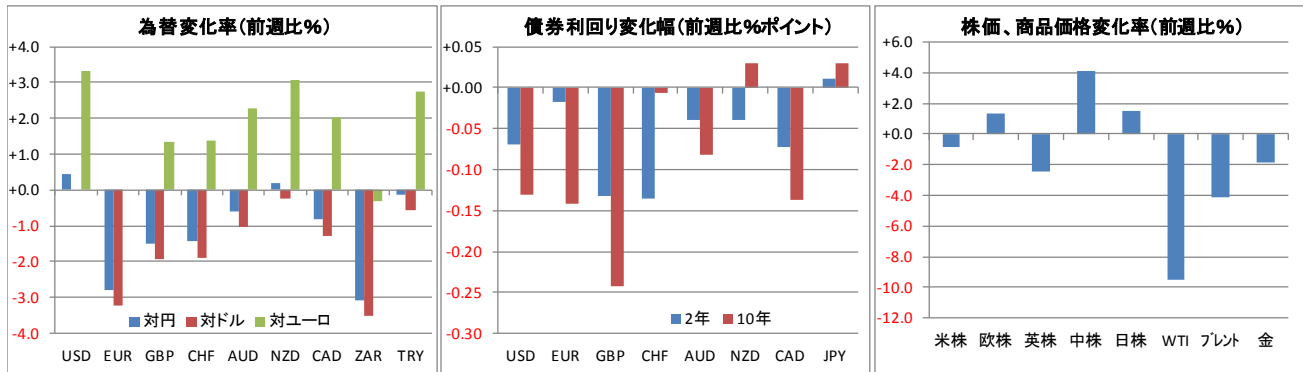
カナダドルは、カナダ雇用統計はまちまちの内容で失業率が 6.8%と予想以上に上昇した一方で、雇用者数の減少は-1000 人と予想よりも減少が小さかったが、発表後は一時的にカナダドル高となった。但しその後は、米ドル全面高基調の中で、カナダドルは反落した。

ドル/円は蚊帳の外で、米経済指標発表後に若干ドルが軟化する局面もみられたが、基本的に 121 円台前半で横ばい圏内の推移だった。麻生財務相が円安派今の状態で景気にプラスと述べ、円安懸念を示さなかったが、市場は政府・日銀が他国ほど通貨安を求めていると見限った模様で、ドル高ストーリーは対ユーロ、対ポンドなどその他主要通貨で取引されているようだ。

主要通貨、債券利回り、株価の前営業日比変化



主要通貨、債券利回り、株価の前週末比変化



きょうの高慢な偏見：タカ派 FOMC は既に織込み済み？

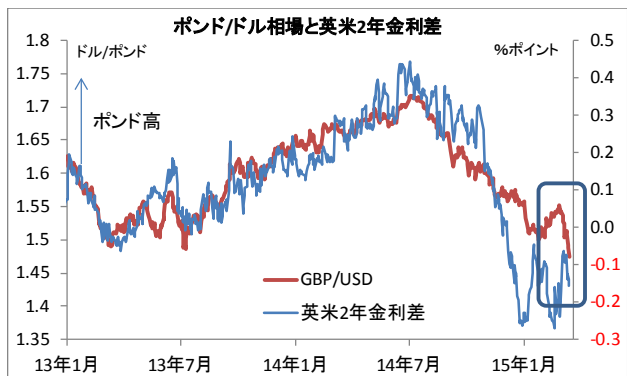
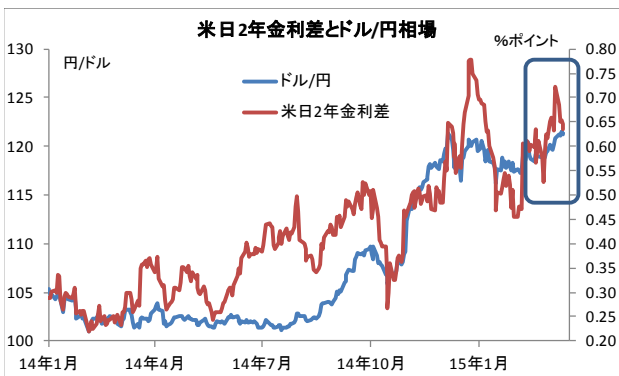
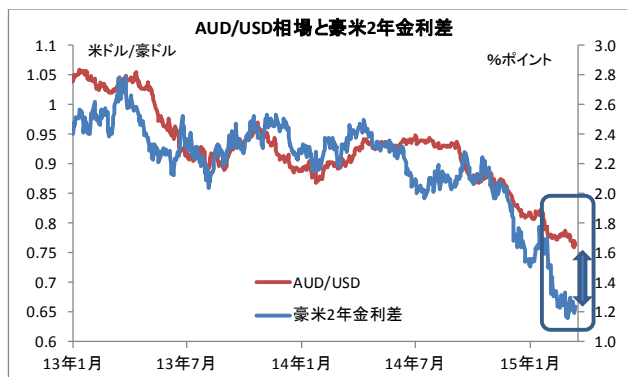
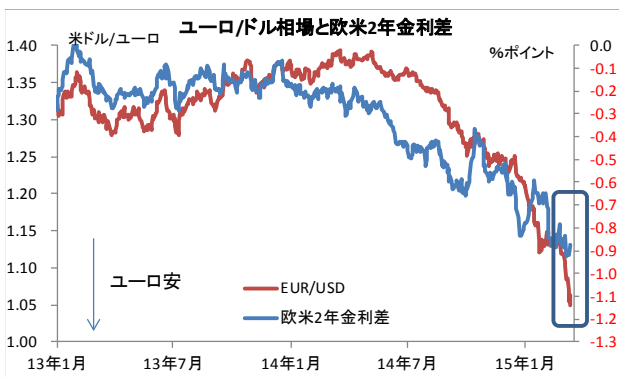
きょうの注目通貨：EUR/USD ↑、AUD/USD ↓

きょうの指標、イベント	時刻	前期	市場予想	備考
米 3 月 NY 連銀製造業景況指数	21 : 30	7.78	8.0	
米 2 月 鉱工業生産・前月比	22 : 15	+0.2%	+0.2%	
米 3 月 NAHB 住宅市場指数	23 : 00	55	56	
Draghi・ECB 総裁発言	3 : 45			

(出所) トムソン・ロイター等を基にプレビデンティア・ストラテジー作成

本日は米経済指標が幾つか発表予定となっているが、個別指標の結果に敏感に反応するというよりは、今週 18 日の FOMC に向けたポジション造成の進捗度合いが重要となりそうだ。これまでのドル高過程で、今回 FOMC 会合の声明文で「忍耐強くいられる (patient)」という文言が削除されいつでも利上げができる態勢が整うことに対する備え (ドル買い) はかなり進んだとみられる中、FOMC で発表後には市場がここまで織り込んだ以上にタカ派的な内容は見込みにくくなることから、発表後のドル反落リスクが高まっているといえよう。

但し、対米金利差との関連での各通貨の下落度合いはまちまちとなっており、ユーロ/ドルは金利差以上にユーロ安ドル高が進行、逆に豪ドル/米ドルはまだ金利差縮小に出遅れ感があり、ドル/円とポンド/ドルは概ね金利差が示唆する水準にある。このため、FOMC 発表後に向けてユーロ/ドルは反発し易く、豪ドル/米ドルはタカ派的な声明文であれば金利差にキャッチアップするかたちで順張りで豪ドル安米ドル高に傾き易そうだ。



ディスクレイマー

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、全てお客様自身でご判断下さいませようよろしくお願い申し上げます。
 当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。
 当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。当資料は購読者向けに送付されたものであり、購読者以外への転送を禁じます。

プレビデンティア・ストラテジー株式会社
 金融商品取引業者 (投資助言・代理業) 関東財務局長 (金商) 第 2733 号
 一般社団法人 日本投資顧問業協会 会員番号 012-02641